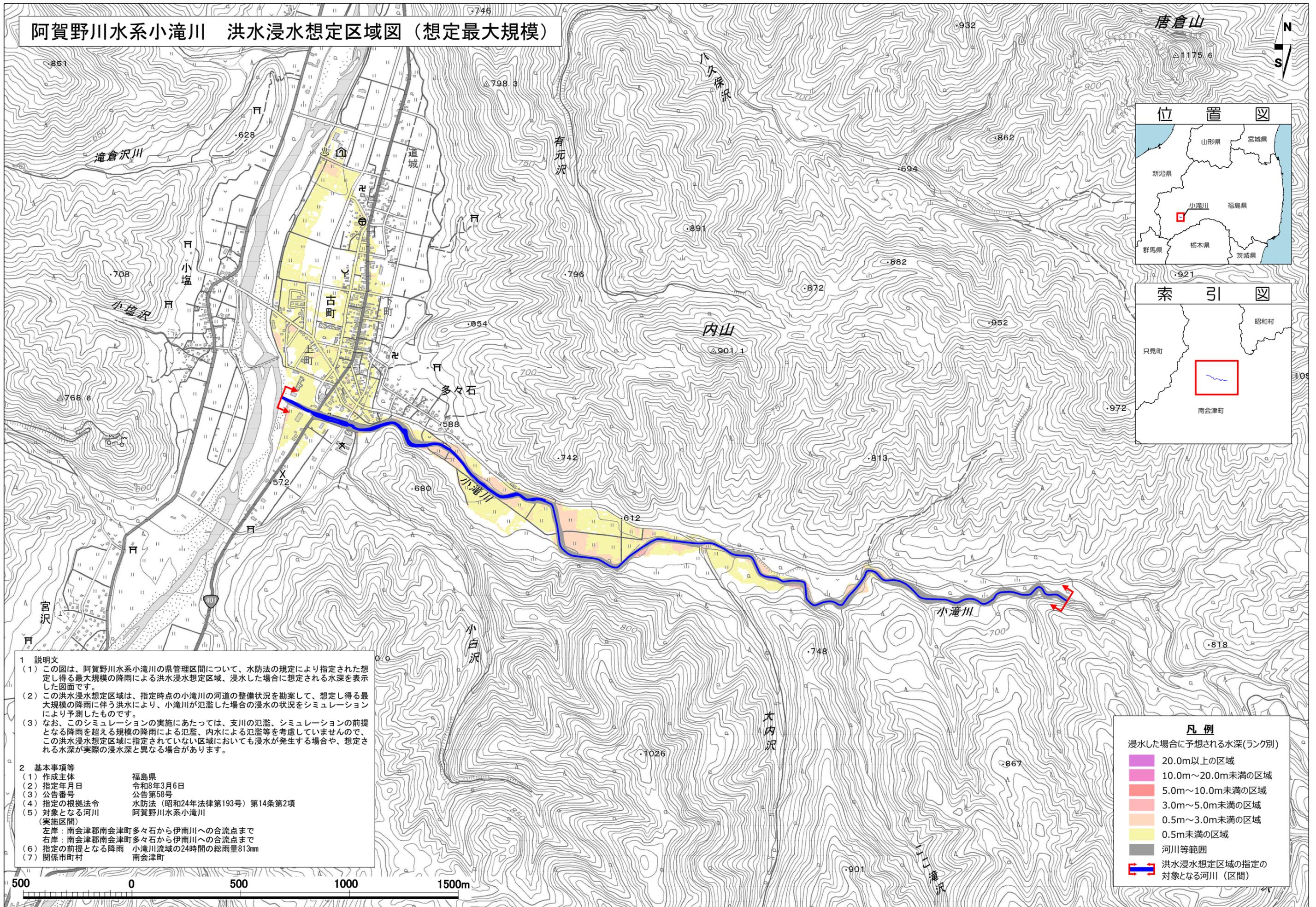


阿賀野川水系小滝川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



位置図



索引図



1 説明文

(1) この図は、阿賀野川水系小滝川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の小滝川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、小滝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	福島県
(2) 指定年月日	令和8年3月6日
(3) 公告番号	公告第58号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる河川	阿賀野川水系小滝川

(実施区間)
 左岸：南会津郡南会津町多々石から伊南川への合流点まで
 右岸：南会津郡南会津町多々石から伊南川への合流点まで

(6) 指定の前提となる降雨 小滝川流域の24時間の総雨量813mm
 (7) 関係市町村 南会津町

凡例

浸水した場合に予想される水深(ランク別)

	20.0m以上の区域
	10.0m～20.0m未満の区域
	5.0m～10.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	河川等範囲
	洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川（区間）

「測量法に基づく国土地理院承認（使用）R 7Jh 880」背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」